

# いずみぎ 議会だより

第129号 2025 令和7年10月25日



## 9月定例会

### もくじ

令和6年度決算認定	2
令和6年度主な事業	4
9月定例会	6
決算審査特別委員会	7
一般質問 ～9人が町政を問う～	8
全員協議会	18
総務文教常任委員会視察報告	20
社会産業常任委員会視察報告	21
行政視察報告	22
議会モニター意見交換会	24
出まえ議会のお知らせ	25
議会サロンのお知らせ	25
みんなの声	26

自分だけの紙風船できた！



出雲崎町議会  
ホームページ



出雲崎町議会  
公式LINE



**皆さん の払った税金  
どのように使わ  
れているか知っていますか？**

Category	Amount (¥)	Percentage (%)
総務費	6,629,100,000	18%
民生費	8,587,900,000	23%
教育費	3,944,400,000	11%
公債費	3,647,000,000	10%
土木費	5,143,900,000	14%
農林水産業費	2,626,800,000	7%
衛生費	2,409,500,000	7%
商工費	1,513,300,000	4%
消防費	2,361,000,000	6%
災害復旧費	438,000,000	0.1%
労働費	12,510,000	0.3%
議会費	57,830,000	2%

**歳出**

一般会計

人件費や徴税・選挙・各調査・戸籍業務にかかったお金

高齢者・障がい者福祉・保育園の委託料などにかかったお金

こどもの医療費・予防接種・健診・ごみ処理などにかかったお金

農業基盤整備や地籍調査などにかかったお金

道路や河川の整備・維持などにかかったお金

小中学校教育運営全般にかかったお金

町債として借りたお金の返済支出分

The diagram illustrates the flow of income between three entities: the National and Local Governments, the Town, and the Household.

- 国や県から入ってくるお金 (Money coming from the national and local governments):** This box lists "地方交付税、交付金、支出金、町債、譲与税" (Local allocation tax, grant-in-aid, expenditure, town bonds, and transfer tax).
- 町が自主的に収入できるお金 (Money the town can independently receive):** This box lists "町税、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入" (Town tax, contribution/expense, usage fee/handling fee, property income, donation, transfer-in, transfer-out, and other income).
- 自主財源とは？ (What is independent financial resource?)** This box is the central focus of the diagram.

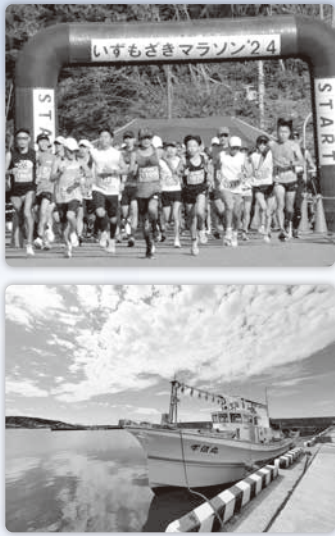
Arrows indicate the flow of money: from the National and Local Governments to the Town, and from the Town to the Household.

会 計 名	決 算		差 引 残 高
	歳 入	歳 出	
簡 易 水 道 事 業	2億5,431万円	2億7,393万円	－ 1,962万円
下 水 道 事 業	4億8,121万円	5億1,805万円	－ 3,684万円
合 計	7億3,551万円	7億9,198万円	－ 5,646万円

◆水道事業関連の会計形態が令和6年度より公営企業会計に移りました。また、「特定地域生活排水理事業」及び「農業集落排水事業」についても公営企業会計に移行し、下水道事業会計として一本化されました。

# 令和6年度 一般会計 主な事業を

# ピックアップ!! ふるさと納税が躍進!



## 総務課関係

○ふるさと納税寄付金	6,120万円	……金額は昨年の3.8倍、件数は6.2倍の2,060件
○ふるさと納税寄付者謝礼	1,750万円	……ふるさと納税返礼品代
○ふるさと納税委託料等	861万円	……代行業務委託料257万円、推進事業委託料286万円、ネットサイト使用料318万円
○町デマンド交通運行補助金	1,222万円	……デマンド交通町内運行のため(有)出雲崎交通に対し運行費を補助した 運行本数最大21便/日 運行便数2,709便 利用者数3,130人
○物価高騰対応重点支援給付金	5,573万円	……物価高騰による負担増を踏まえ、町民の経済的負担の軽減を図った

## 町民課関係

○ふるさと就職支援商品券	488万円	……新卒者Uターン者44人に1万円/月交付 使用先の25事業者に交付金を交付
○一般ごみ収集委託料	1,745万円	……週に可燃1回、生ゴミ2回 月に不燃2回、粗大ゴミ1回
○資源ごみ分別回収委託料	2,018万円	……各週に1回缶瓶古紙、週1回ペットボトル、プラスチック、月1回枝、葉、草
○長岡北部斎場整備負担金	1,663万円	……長岡市民と出雲崎町民が使用する新たな斎場整備の負担金、全体費用の10%

## 保健福祉課関係

○町高齢者福祉タクシー、バス利用助成	574万円	……一般の交通機関利用が困難な方や免許返納高齢者に支給 利用者359人
○子どもの医療費助成事業	1,134万円	……対象0歳から高校卒業まで
○定期予防接種委託料	1,406万円	……B種（高齢者インフル、コロナ等）837万円 A種（5種混合、日本脳炎等）569万円

## 産業観光課関係

○プレミアム付商品券利用事業交付金	4,810万円	……1万円分を5千円で2回販売 (ひとり親世帯等には無料交付)
○出雲崎ライスセンター能力増強事業補助金	928万円	……高品質米の生産を図る粳摺調整機の入替え 事業費4,642万円の20%
○町船まつり協賛会負担金	813万円	……船まつり協賛会に対する負担金
○天領の里管理費	1,463万円	……空調設備の改修 室外機1、室内機11 請負者 日新設備工業(株)
○海浜クリーン作戦委託料	1,160万円	……井鼻、久田、尼瀬 委託先 (株)棚橋組

## 建設課関係

○除雪委託料	2,086万円	……町道延長87.24km 町有除雪車9台貸与、町内土木業者所有除雪車2台の借上により委託実施 歩道除雪は延長1.91kmに町有除雪車2台を配備 除雪車1台につき運転手1名、助手1名を配置し実施
○ひまわり入居宣伝広告委託料 ○町新生活スーパー住まい取得 ・リフォーム支援補助金	153万円	……ネット広告より1戸入居申込有り
○大門町営第1住宅建設費	12,887万円	……実績件数13件 木造平屋（2戸1棟104.34㎡）2棟 契約額8,143万円 請負者 (有)長谷川材木店 木造2階建（1戸1棟149.06㎡）1棟 契約額4,744万円 請負者 (有)高坂工務店

## 教育課関係

○高校生通学費助成金	310万円	……助成率30%→50%に引き上げ 交付者62人（JR41人、バス17人、下宿4人）
○通学バス運行業務委託料	2,723万円	……56人乗りバス2台を配車し、4～11月登校1回下校2回小学生対象とし、12～3月登校中学生混乗、下校3回で3回目は中学生単独乗車とし運行 小学生60人・中学生10人 委託先 越後交通(株)
○通学バス運転代行業務委託	312万円	……町所有の33人乗りバス1台の運転業務委託 運行は同上 小学生25人・中学生13人 委託先 (株)イドム
○小学校校舎棟特別教室空調改修工事	1,936万円	……小ホール、図工室、音楽室 請負者 三協設備工業(株)
○公設学習塾講師報償	386万円	……退職職員9名配置 5教科コースは155回、英検コース（新規）は20回年間実施
○いずもざきマラソン'24補助金	300万円	……おもてなしとして出雲崎の名物さざえ飯と豚汁が振舞われた 参加者459名

## 子ども未来室関係

○幸せを運ぶコウノトリ祝金	610万円	……出産準備金30万円×13人 出産祝金20万円×11人
○多世代交流館屋外遊具整備工事	1,822万円	……シェルター、ロング滑り台、ネットクライム等 請負者 (株)中越建設
○保育実施委託料	6,753万円	……小木ノ城保育園保育実施委託料 平均42人/月
○認定こども園施設型給付費等	6,111万円	……出雲崎こども園 平均35人/月
○児童手当	4,542万円	……令和6年10月より新制度 所得制限撤廃（特例給付廃止） 対象を中学生から高校生へ延長 第3子以降の月額1.5万→3万円に増額 第3子以降は対象年齢を18歳→22歳に延長 支給回数を年3回→6回に変更





## 決算審査特別委員会

令和6年度一般会計・特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審議し、次の意見を付して全会一致で認定されました。

総務文教分科会

- \* 税徴収率は99.11%と高く推移しているが、今後も引き続き維持されるよう望む。
- \* 現在2名の地域おこし協力隊員が活動しているが、地域活性化のため、協力隊員の増員と定着アップのための対策を講じられたい。
- \* 公式LINEが定着してきており、町の情報発信の手段として、更なる活用を望む。
- \* 良寛記念館の入館料が物品売り払い収入を下回っている。「手まりの会」や「寄港地のまちや」「歴史や五郎兵衛」「北国街道妻入り会館」などと協働し、入館者の回復に努められたい。

社会産業分科会

- \* 高齢者福祉タクシー・バス利用権のなかで、タクシー券の利用率が54.6%と低いことから、利用率の向上を求める。
- \* プレミアム付商品券利用事業について、第6弾から第7弾への商品券流通枚数が3,880枚減少していることから、当事業の取組みなど見直しを望む。
- \* ひまわりハウスの空室が見られるが、入居者募集について効果的なPRに務めるよう求める。
- \* 簡易水道事業及び下水道事業において、耐用年数を経過した水道管などの修繕更新の改良事業について、更に計画的な実施を求める。



委員長 高桑 佳子

## 7月の渇水対策として 町農作物渇水対策事業補助金を専決

会 計	補正額	補正後の予算額
令和7年度一般会計（第3号・専決）	200万円	37億9,422万円
令和7年度一般会計（第4号）	3,996万円	38億3,418万円
特別会計介護保険事業（第2号）	5,150万円	7億 68万円

### 一般会計第3号専決

主な歳入	主な歳出
・前年度繰越金追加 …………… 200万円	・農作物渇水対策事業補助金 …………… 177万円 ・水資源提供謝礼 …………… 20万円

### 一般会計第4号

主な歳入	主な歳出
・県単農業農村整備事業分担金 …………… 72万円 ・子どものための教育・保育給付費 負担金追加（国）…………… 1,414万円 ・子どものための教育・保育給付費 負担金追加（県）…………… 452万円 ・県単農業農村整備事業補助金 …………… 792万円 ・地域活性化推進事業費補助金 …………… 77万円 ・財政調整基金繰り入れ減 …………… ▲5,456万円 ・介護保険事業特別会計繰入金追加 …… 354万円 ・前年度繰越金 …………… 6,615万円	・尼瀬地内町有地整備 基本構想謝礼 …………… 30万円 ・コンビニ交付システム改修業務委託料 …… 44万円 ・町訪問介護員処遇改善緊急対応支援補助金 …………… 30万円 ・小木之城保育園保育実施委託料追加 …… 1,882万円 ・出雲崎こども園施設型給付金追加 …… 492万円 ・県藤巻地区揚水ポンプ更新工事 …… 240万円 ・天領の里施設修繕料追加 …………… 89万円 ・ひまわりハウスエアコン入替え …… 120万円 ・小学校駐車場舗装修繕工事 …………… 117万円 ・小木ノ城案内看板設置工事 …………… 154万円 （352号線小釜谷地内）

### 可決された条例制定

議案第59号 出雲崎町一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定について  
専門的知識、経験が必要となる場合や住民サービスの提供サービスを充実させる場合、専門的な知識経験等を有する者を即戦力として任期付任用職員を採用するための新規制定。任期は最長5年以内とし、待遇は正規職員とほぼ同様となる。

### 陳情

陳情第2号  
「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・不採択拡充を求める意見書」の採択を求める陳情  
国では高校授業料無償化に向けて動きがあり、年収910万円の壁を撤廃し、就学支援金を支給することとし、公私間格差の是正は進んできた。陳情2号は公立高校については触れておらず、全体を考えずに私立高校のみの意見書をあげる事は不十分ではないかとの意見が出された。

### 人事案件

#### 教育委員会委員の任命

・矢川 京氏（米田）  
・関本由美氏（大門）

宮下議員 旧渋川臨海学校跡地は、地滑り地帯である。災害時の安全を考えた上で

保健福祉課長 国や県にも同様の補助制度があり、条件的に倣っている。事業所と相談して決定した。

石川議員 ヘルパー人材確保として、3ヶ月分をみている根拠は何か。

尼瀬地内町有地整備基本構想作成謝礼（旧渋川臨海学校跡地）30万円

緊急対応支援補助金 30万円

町訪問介護員 処遇改善

小学校校駐車場 舗装修繕工事 117.7万円

石川議員 どのような状態での舗装修繕か、詳細を確認したい。

教育課長 体育館脇の駐車場でクラック（ひび割れ）が確認された。令和5年に応急修繕で対応していたが、範囲の拡大が見られ、調査の結果、舗装の打ち替え工事を行なうもの。

中野議員 基本構想の謝礼としては高額に感じる。委託ではないのか。

総務課長 緊急指定避難場所になっているが、避難場所を基本とした防災公園的なもの、かつ日本海を望む景観を観光面でも活かせるいかと考えている。今回は計画策定のイメージ図をコンサルをお願いするもの。建物は考えておらず、制限のなかで整備を進めたい。

高桑議員 公定価格の改定と入園児の変動によるとのことだが、補正額が大きい。入園児は減少傾向にあり、今後同様な補正があるか。

出雲崎こども園 施設型給付費 492.1万円

小木之城保育園 保育実施委託料 1882.9万円

子ども未来室長 当初予算は6年12月の人事院勧告前の公定価格で算出しており、例年12月に補正を出している。

小林玲子議員 近年ハナモモを見に来られる方が増えて新しい観光スポットになっている。道路が狭いうえ、説明が難しく、分かりやすく行けるよう工夫が欲しい。

教育課長 文化財の指定地区にあたる箇所でもあり、史跡保存会や関係機関と相談のうえ、検討したい。

産業観光課長 修繕の一つに、時代館からレストラン陣やへの通路を車椅子対応に修繕するものもあるが、それ以外に照明等、お客様の目線で改善すべき箇所が出てきたため追加したい。

天領の里 施設修繕料追加 89.6万円

島議員 障がい者用の修繕とのことだが、詳しい内容はどうか。

小林玲子議員 近年ハナモモを見に来られる方が増えて新しい観光スポットになっている。道路が狭いうえ、説明が難しく、分かりやすく行けるよう工夫が欲しい。

教育課長 文化財の指定地区にあたる箇所でもあり、史跡保存会や関係機関と相談のうえ、検討したい。

小木ノ城案内看板 設置工事 154万円





石川 豊 議員 (文責)

# 水道のインフラメンテナンス・ 山側傾斜地の土留めインフラ メンテナンスは大丈夫か

町長

## 設備等の点検、修繕更新、 災害時の有効避難の推進を図る



久田浄化センター



優先度を考慮して各種  
設備等の修繕更新を図る  
町長 設備等によつては  
耐用年数も違っているが、  
災害等の場合に有効避難場  
所の確保、避難経路の確保  
などの観点から、重要度・  
優先度等を加味したうえ  
で、計画的に点検、修繕更  
新を実施していく。

水道インフラ

メンテナンスは  
大丈夫か

石川

今年の1月、埼玉  
県八潮市で下水道管の破損  
に起因すると考えられる大  
規模な道路陥没が起き、ト  
ラック運転手が巻き込まれ  
死亡する事故が発生した。  
当町海岸地域も下水道工事  
から数十年経過しており、  
下水道管の耐用年数等を踏  
まえた上で、今後の水道管  
インフラメンテナンスに対  
して、具体的対策をどう講  
じていく考えであるか。  
町長の認識・所見を伺う。

海岸地域傾斜地の土留め  
インフラメンテナンスは  
大丈夫か



海岸地域山側傾斜地の土留め状態

管轄する関係省庁に  
おいて、必要に応じ  
対策をとる

町長 国交省、林野庁な  
ど管轄する省庁において、  
点検・修繕更新の対策が取  
られる。また、災害時の緊  
急対応として、長岡振興局  
長・与板維持管理事務所長・  
整備部幹部などに連絡が取  
れる体制である。更には随  
時、関係部所との意見交換  
をして現状把握に努めてい  
る。

石川 土留め工事からか  
なりの年数が経過している  
が、昨今、全国各地から大  
雨豪雨災害被害のニュース  
を聞くにつけ、海岸地域に  
おける土留めインフラメ  
ンテナンスの現状は、どの  
ようにしているか、町長の  
認識を伺う。

# 一般質問 ~町政を問う~

1 いしかわ ゆたか 議員  
石川 豊



質問項目

1. 水道インフラメンテナンスの現状と今後の対応について
2. 海岸地域における山側傾斜地の土留めインフラメンテナンスについて

詳細は9ページ

2 あだ かずゆき 議員  
和田一幸



質問項目

1. 予期せぬ気候変動の町対策について
2. 小木ノ城跡地来訪者倍増へ向けての土地活用について

詳細は10ページ

3 こばやし れいこ 議員  
小林玲子



質問項目

1. 町家展示施設の活用について
2. コンビニ再開についての進捗状況について

詳細は11ページ

4 きたたに みつ き 議員  
北谷三樹



質問項目

1. 出雲崎高校への支援について
2. エコパークいずもぎの土地活用について

詳細は12ページ

5 なか の かつ まさ 議員  
中野勝正



質問項目

1. 大門町営住宅の今後の展望について

詳細は13ページ

6 し ま あ す か 議員  
島明日香



質問項目

1. 湯水対策について
2. 水道事業について
3. ひまわりハウスの今後について

詳細は14ページ

7 たか くわ よし こ 議員  
高桑佳子



質問項目

1. 関係人口拡大へ今後の施策は

詳細は15ページ

8 こばやし あ す か 議員  
小林明日香



質問項目

1. 水道水の水質と透析について
2. コウノトリを出雲崎町の鳥に！
3. 神社仏閣を町のPRに活用しては
4. 出雲崎町営の霊園について

詳細は16ページ

9 たかはし そく えん 議員  
高橋速円



質問項目

1. 複合災害発生時の避難行動について
2. 地方創生について

詳細は17ページ

一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています

出雲崎町議会  
YouTube チャンネル

9月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます→







和田 一幸 議員（文責）

## 気候変動対策として 出雲崎の地域特性に合った 具体的な方策と啓発を

町長

環境変化に強い品種導入、水源管理など  
対策し、小中学校で環境教育実施、広報  
を通じた啓発活動の強化を行っていく。

### 町の気候変動対策の 取り組みは

【和田】 令和五年に引き続き長期間の雨不足と猛暑が農業・漁業ともに影響を及ぼしたが、町として気候変動対策の取り組みはあるのか。農業用水確保や緊急時の用水共有などマニュアル整備を求める。

気候変動対策を定めたものはないが様々な分野において対策している。

【町長】 自然災害については地域防災計画、CO<sub>2</sub>削減では地球温暖化対策実行計画を策定し取り組んでいる。更に産業・生活環境への影響に対し被害状況に応じてより適切な対応を行う。

雨庭など先進技術を採用し  
具体的な気候変動対策を

【和田】 気候変動対策は各家庭でもできる。雨庭（あめにわ）という雨水を地中に浸透させる庭が全国で広がっている。雨庭は地下水枯渇や洪水対策・地表温度低下など有効であるが町では具体的取り組みや啓発をしていく計画は無い。

## 小木ノ城跡観光地活性化・ 外国資本土壌購入阻止の ために本丸・二の丸跡地購入を

町長

現段階では購入は  
考えていない

小木ノ城跡本丸・二の丸  
を駐車場やイベント会場  
として購入を

【和田】 小木ノ城跡は町民有志や小木ノ城跡史跡保存会、ねつとわーくさぶらいの御尽力のお陰で現在ハナモモ植樹数約2,000本にのぼり、新聞やテレビで報道され町内外から多くの観光客が訪れ、今後増加していくことは間違いない。町が所有していない本丸・二の丸跡地は土地所有者が出雲崎町に購入を望んでいると聞く。

教育・広報で  
啓発強化していく

【町長】 小中学校で環境教育に取り組んでいる。広報では地球温暖化や気候変動の状況を伝える記事を掲載して、家庭でできる対策や災害への備えなどを広報を通して紹介するなど、町民の皆さんの関心・理解を深めていただくような啓発に取り組んでいく。

「雨庭（レインガーデン）」とは  
雨を下水道に流すのではなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造をもった植栽空間である。豪雨による洪水や土砂崩れを防ぎ、地下水涵養・夏の暑い地温低下など様々な効果がある。現在全国自治体に広がっている。

また、小木ノ城山中腹の一杯清水は歴史的価値があり、水源涵養地としても重要である。西山風力発電事業のように外国資本が歴史的な土地や水源地を買収したり損なったりしないように一杯清水も土地を購入したらどうか。

【町長】 小木ノ城跡を盛り上げる各団体、町民有志には



本丸・二の丸跡地

## 「歴史や五郎兵」や 「出雲崎寄港地の町家」の 活用について

町長

訪れる方に喜んでいただける  
運営をしていきたい

冷房設備の設置について

【小林】 猛暑が続く、冷房設備がなく施設の休業を余儀なくされたが、今後、冷房設備の設置について検討されているか伺う。

【町長】 有償ボランティア団体の活動により、館内の案内、資料展示、清掃管理等を行っていただいております。皆さんから意見をいただいている。町家建築の特徴ある造りを活かす工夫をしているか伺う。

【小林】 観光のために造られた施設であれば、来店者の快適さやスタッフの作業環境も含めて検討する必要があると思うとお考えか。

【町長】 スタッフの健康管理も大変重要だ。暑いからと施設を閉めるという考えは違うと思っている。出雲崎の歴史や文化にふれていただくために配慮していかなければならない。

より多くの方に  
出雲崎町の魅力を  
感じてもらえる機会を

【小林】 当町にスケッチ合宿を訪れる藝大院生に協力をお願いし、町の歴史や文化の紹介や、音楽イベントを開催することは可能か伺う。

【町長】 歴史ある建造物を改修していることや展示スペースに限りがあること、また、民家と隣接していることを考慮すると音楽イベント等の実施は難しい。今後は、『見る』『施設から文化を』『知る・触れる・人と関わる』ことが出来る施設になるよう運営していく。



当時の宴席の様子

## コンビニが 必要だ！

町長

再開に向けて  
進めている

「コンビニの再開予定や  
進捗状況について

【小林】 今年の3月にセブンイレブン出雲崎バイパス店が閉店となり半年が経過した。今後の再開予定や進捗状況について伺う。

【町長】 今まで経営していた関係者と再開に向けて進めている。一部の用地の権利関係が整理されておらず、現在、確認作業を進めているところだ。この問題が整理されれば、再開できる見込みがあると聞いている。

【小林】 現在の場所やコンビニ各社のこだわりが土地を準備し、誘致するなどの検討はされているか。

移動販売の  
範囲拡大について

【小林】 海岸地区では移動販売車での営業がされているが、販売範囲の拡大、必要性のニーズや情報提供はどのように進めているか伺う。

【町長】 現在の営業は、月・木曜日と海岸の下地区、五カ字地区及び中越地区の一部、火・金曜日を海岸の上地区を中心に見守りを兼ねて営業している。移動販売車については、利用希望の場合は電話で依頼をいただければ、可能な限り対応したいということだ。また、一定の価格以上を購入すると、配達サービスを行っている町内事業所もあるのでニーズに合わせて紹介している。





北谷 三樹 議員（文責）

## 出雲崎高校の後援会 立ち上げの動きについて

町長

### 後援会組織と 必要な連携・協力を図っていく

**全県的な高校統廃合の動きと  
出雲崎高校の重要性**

**北谷** 令和7年7月の全県協議会にて、「出雲崎高校存続のための町の支援策」について議題となった。同年6月に、県立高校等の再編整備計画を県が発表したことにより、今後高校の統廃合が進み、この先出雲崎高校の存続も危ぶまれる。

一方で出雲崎高校は多様な生徒を受け入れており、小規模校を生かした手厚いサポートと教育を行い、昨年度の入試倍率は1.22倍、と評価が数字にも現れている。高校の存続は、駅前地区を中心とした地域活性化のみならず、JR越後線の運行維持や関係人口の増加等、様々な重要性をもっている。

教育長の答弁の中で、町としても引き続き高校側と連携をし、その時々に必要な支援を行う旨が確認された。

**今後作られる町民有志の後援会と町との協力体制は**

**北谷** 一部議員を含めた町民有志による後援会の設

立が、近々行われようとしている。行政に事務局を置かない町民主体の組織ではあるが、町としても支援・協力体制を構築できるかは重要であると考えている。

**町長** 出雲崎高校と包括連携協定を結んでおり、協定書内の「相互に連携協力が必要と認められる事項」にあたるため、どちらも可能である。

**北谷** 町内の事業所中心に「ボランティア・アルバイト・インターンシップ」情報を後援会事務局通して、高校側へ紹介する体制が築かれる。この中で町として案内ができる内容はあるか。

**町長** インターンシップは役場で、主に春受け入れでおり高校生にも案内が可能である。ボランティアについて現在、「出雲崎ストリートジャズ」「いずもぎマラソン」が募集をおこなっており案内が可能である。

**「エコパークいずもぎ」の  
第2期・3期最終処分場の  
土地活用は**

**北谷** 供用を終えた第2期最終処分場（59,300平方メートル）の跡地が、活用されずにそのままとなっている。

何らかの活用を実現するには、土地の性質や安全管理等の様々な制約があり、これまで一般質問等の場でも多様な議論がなされてきたところである。

**適切な時期に  
活用はしていくべき**

**町長** ともに活用はすべきであると考えているが、いまだ第2期最終処分場の地盤沈下が見られることや、第3期が稼働中であるという影響等を踏まえる必要がある。地元の理解を得ながら環境保全事業団と、地域活性化につながるような利活用を模索したい。



出雲崎高等学校  
ホームページ



県ホームページ  
「令和8年度～令和11年度 県立  
高校等再編整備計画」について



建設中の建物

## 大門町営住宅の 今後の展望について

町長

### 解体後、2,000㎡を区画整理し、 宅地造成も考える。

**中野** 私は6年前にも、大門町営住宅の今後の展望について一般質問をした。その時の内容は、建物をたててから、30年以上経過して建物が古いために募集をかけても入居する人が居ないので、私は、4点について前町長に質問をした。

一、入居されている方との話し合い。  
二、建物に入居されている方に住宅を無償提供できないか？  
三、入居されている方から、土地を購入してもらうことはできないか？  
四、町営住宅を壊して、新たに整理し、次のネクストにする。これを質問した中で現在の大門町営住宅の運営になっている中で、現町長に大門町営住宅の今後の展望について一括質問をする。



中野 勝正 議員（文責）

**中野** 私が質問してから町の計画が示され、新しい町営住宅が建設され、平屋2棟、1棟の建物で2家族入られ、1家族分空室と



新しい町営住宅

なっている。  
又、2階建て1棟の建物に1家族が入居され、1家族分空室となっている。  
今、建設中の建物が平屋1棟で、2家族入居する予定である。

町営住宅の解体の計画は令和7年～令和9年で全部解体で、解体終了後の面積は約2,000㎡だ。

この土地を大門町営住宅活用としてではなく、宅地造成として町外の人から購入してもらうことはできないか町長の考えを伺う。

**考えている**

**町長** 町の計画の中で、全部解体終了後は、令和9年完了予定である。解体終了後は、大門町営住宅としてではなく宅地造成も考えている。考え方は、今年度、山谷団地が全部完売になるので次のネクストにつなぎ宅地造成を考えている。

**対応する**

**町長** 町の信用に関わるので町の責任において対応する。

**中野** 解体を早く進めて、宅地造成してもらいたい。  
**町長** 全部一時にやるには相当な金額になるので計画に沿ってやりたい。  
この面積の土地については、民間から土地活用提案、町として土地が必要になる場合や災害公営住宅など考えられるので、宅地造成もひとつの選択として考える。





島 明日香 議員（文責）

## 根本的な渇水対策を！

### 町長 補助金は通年使えるように

島 「ふるさと納税の大半は出雲崎産米であることを理解しているのか」このままでは農業離れがますます進む」という農業者の声をどのように受けとめるか。

また、国や県の補助金は、農業法人など大きな農家さん向けの補助金に偏りがち。それに右習えするだけでなく、町独自の支援策の検討を望む。

#### 継続的な良質米のために

町長 町渇水対策事業補助金の申請件数は14件で、66万37円の支出。農業者の意見を受け止めながら、町独自で支援できる事は対策に当たらなければならないが、今は追加の支援策は考えていない。

また、ハード面の対策には多額の事業費や受益者負担が必要であるが、補助金は年間を通して使えるよう制度を整えたところである。

乾田直播については、農業者の方と意見交換をし、

植える時季をずらしたり暑さに強い稲が町の農業に適しているのかなど慎重に考えていた。

## 水道・下水道料金の改定はあるのか

### 町長 値上げは抑えたいが…

町長 経営コンサルタント委託により改定作業中で、料金改定の必要性や効率化等の報告書により、経営戦略を策定するが、値上げの報告があると予想する。企業会計の健全経営も重要だが、行政サービスの一つとして水道下水道も考えては、繰入金による一般会計への負担や周辺地域の料金、町民生活に及ぼす影響を考慮して総合的に判断する。



水道管工事現場

#### インフラを心配する声

島 町民の不安にどのように応えていくか。

町長 経営戦略において町民に示し、見える化することは分かりやすい方法だと思う。個人的には、料金値上げは抑えたいが、老朽化に対する整備も必要だと考える。

## ひまわりハウスの未来像は

### 町長 子育て世帯の転出抑制に

島 5年後、10年後も子育て世帯で満室とは想像し難い。

町長 現在、2部屋の空室が8か月程度継続しているため、より効果的な広告が必要である。若い世帯から居住いただき、充実の子育て施策など町の良さを知り、町内の土地や物件を探して定住していただきたい。

ひまわりハウス入居後も転出抑制に役立てる施設として今後も継続したい。

## 連絡協議会を立ち上げて 関係人口増へ基礎固めを

### 町長 各団体の意向を確認して進めたい



高桑 佳子 議員（文責）

高桑 今年は、地方創生を担当された大津俊哉さんをお迎えして地方創生懇談会が開かれた。新しい発見や気づきがあったこと、これからの期待する。

これから関係人口、交流人口の拡大に力を入れていくことになると思うが、役場内での変化や新しい企画、そういったものがあれば、その進捗状況や計画について伺いたい。

#### 地方創生会議を経て 変化や今後の進捗は

課題の整理・分析を行ない  
解決に向けて取組む

町長 職員22人から28の課題の提出があった。既に大津さんからも見ていただき、15の課題については、直接大津さんと職員で内容の確認を行っている。行政関係であったが、整理、分析を行い、ご相談をしながら、課題解決に向けて取り組むこととしている。

#### 藝大院生の絵を 観光に役立てて

高桑 今年も東京藝術大生のスケッチ合宿が行なわれ、町が所蔵する藝大院生の絵は500点を超えた。過去には一堂に展示・公開したことがある。しかし、現在は一部が展示されているのみで、多くは公民館に保管されている。

また、今年は、平成2年に合宿に参加された笹本正明さんが北国街道妻入り会館で約1か月半にわたって個展を開催された。関係人口の拡大にこうしたつながりをもつと大切に活かしていきたい。管理が難しいことは承知しているが、妻入り家屋の道路に面した展示スペースを使ったり、出店している事業者に飾ってもらうたりできないか。大切な財産である藝大院生の絵をもっと活用するべきと思う。



歴史や五郎兵衛で絵の展示

#### 画集の発行と共に 多様な方法での展示を 検討する

町長 東京藝術大学大学院生が本町に残していた作品は、専門家の指導で、高温多湿を避けるため、24時間空調管理をし、湿気やほこりから守るために額装して保管している。

展示については、スケッチ看板の他、町の施設や街並みギャラリーで行い、高い評価をいただいている。

今後は遅くない時期にスケッチ画集第4集の発行を検討し、現在のような定期的な企画展と並行して、巡回展示やデジタルアーカイブの活用など、作品を適切に保管しながら、多様な方法での公開についても検討したい。

#### 意向を確認して進める

町長 連絡協議会の立ち上げは、地域活性化、サービス向上、コストの削減、人材の融通などの観点からは非常に有益なことと考える。多様な団体が存在するが、意向を確認し、課題を整理して進めていく。

#### 各団体の連絡協議会を 立ち上げて

高桑 関係人口の拡大を目指す上で、指定管理施設、観光案内施設、また観光に関わる町内団体の運営の充実は大変重要だと思う。

高齢化や諸々の事情で運営が難しくなってきた町内の団体は多い。また、複数の団体に所属されている方も少なくないが、なかなか団体間の繋がりがとれず、協力し合えていない。企画や状況を共有し、人材を有効に活用するためにも、協議会を立ち上げるべきではないか。





高橋 速円 議員（文責）

## 地方創生 「出雲崎の日」制定を！

町長

同じ思い共有している

町長 検証及び見直しを進めている。

町・ホームページに掲載した

高橋 問題点を町民、議会に示していない。どう次に活かすか。

地方創生  
前期・総合戦略の問題点  
次にどうつなげるのか

町長 地域外の人材、知恵、資金の流入が期待される。地域活性化の可能性はある。

高橋 この制度にはプラスもあればマイナスもある。町長の認識を伺う。

どのような  
制度設計をするか  
検討する

ふるさと住民登録制度  
その認識について

町長 令和9年が町村合併70周年だ。検討する。

効果はあると理解する

高橋 町がひとつになる方策を考えるべきだ。町の日を制定してみんなが一体化することを提案する。

地方創生  
出雲崎の  
ハレの日をつくれ

町長 町には海、夕日などいわゆる「原石」がある。効果的に打ち出す方策を検討している。

高橋 フィルムコミッション活用で町のビジョンを示す必要がある。

インスタ・ストーリーズ・  
コンテストを  
開催している

地方創生  
ワンフリーズ(ひんやり)で  
町のビジョンを打ち出せ!!

## 柏崎刈羽原発再稼働 なぜ町民に認識を表明しないのか？

町長

現段階では考えていない

町長 知事・市町村長との意見交換会において、当町では津波など複合災害時の屋内避難は不可能だ。高台の避難場所の整備とその他の財政支援が必要だと伝えた。

原子力防災体制の継続的な充実、強化が必要だと考えている。

町民への情報提供を適切に行っていく。

適宜適切に行う

町長 町民に是非か伝える必要があると考えている。情報提供すべきだ。

高橋 原発再稼働問題について、新聞には掲載されているが広報では全く触れていない。

町の新聞購読世帯数は920と聞く。4月の町世帯数は約1,600。

一部の限られた町民への情報提供はいかがなものか。

町の広報でなぜ町長の考えを表明しないのか？

町長 ありません。

出雲崎町町営の霊園を  
作る計画はあるか？

町長 詳細を精査した上で町でも協力したい。

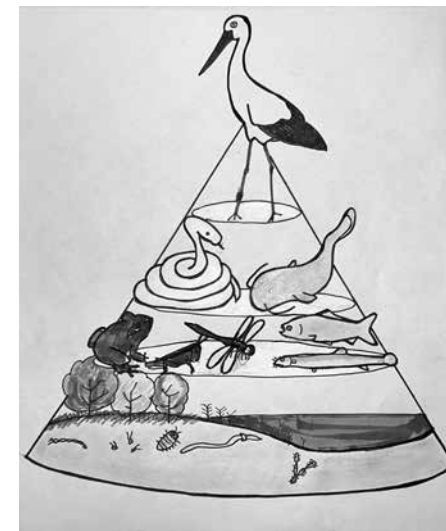
小林 調査の際の場所や日時、地域の方への告知など町の協力は可能か。

町長 H25出雲崎宝物新発見事業で171棟の神社仏閣を調査し54棟については詳細調査もしておりますが全ての情報を調査公開PRすることは今の所考えていない。

町長 出雲崎には88以上の神社仏閣があるのでは？と議会サロンで自身の裏山に祠があったと指摘を頂きました。そこで【出雲崎八百万の会】を作り公開調査を提案します。神仏の多く住まうこの立地は出雲崎を救う光になると確信しております。

町長 地図上に落とし込み祀られている神様や由来を知っている方が存命のうちに撮影しSNSで公開し町のPRに活用してはどうか。

神社仏閣を町のPRに活用  
【出雲崎八百万の会】



コウノトリは  
水辺の食物連鎖の頂点

鷹やサシバは森の食物連鎖の頂点  
これらが多く住む環境は人間にとっても住み良い環境。  
出雲崎にとって大変誇らしいことです！

特徴：高さ1.1m 羽を広げると2m目の周りが赤く羽の先が黒い、足に識別用の輪があり、高く見晴らしの良いところが大好き。目撃情報、写真など小林までお寄せ下さい。

コウノトリが繁殖する出雲崎を見守って参りましょう。

町長 きらりのSNSに一度取り上げていますが、それ以上は現時点は考えていない。

小林 有志を募りポール設置など進めて参ります。

町長 慢性腎臓病対策として①早期発見の講演会や健診未受診者への訪問②ハイリスク群への訪問食事指導③病院への同行支援等がある。飲用水と透析の因果関係調査は行いません。

小林 世界的に2千羽しかない絶滅危惧種のコウノトリがいる環境は人間にも素晴らしい環境であり飛来する数が増えれば環境もそれだけ良くなっている指標になります。

目撃情報を募り、繁殖地があればポールに巣を設置し見守る体制を整え、子育てを主軸とする出雲崎のマスコットにし、写真や場所を町のHPにアップしてはどうか。

コウノトリを  
出雲崎の鳥に！

小林 PFAS（パーフラス）なども含め引き続き井戸水の水質調査を要望します。100歳介護度0の健康な方などのメニューも参考にした配食により、文章だけでは伝わらない適正な塩分濃度を舌で知る一助としてはどうか、この先も透析患者がどんどん減ってゆく施策を進めていただきたい。



小林 明日香 議員（文責）



# 全員協議会 7～9月開催分

全員協議会は議案の審査又は議会の運営に関し、協議または調整を行うための場です。行政内容あるいは、提出議案について理解を深める場にもなっています。主なものから抜粋して掲載しています。

## 出雲崎高校存続のための町の支援策

**高桑議員** 令和8年度から11年度の県立高校等再編整備計画が発表、出雲崎高校は今後、統廃合などのあり方の検討が必要な高校として名前が挙がっている。将来的な存続を考えると、恒常的に定員を充足し続けることが必須となる。そのため、令和6年度入試の倍率1・22倍を維持し続けるため、町としての今後の取り組みを伺う。

**教育長** ご指摘のように入試倍率1.0以上を維持し続けることが必須条件だととらえている。高校では、生徒の多様な教育ニーズに対応する体制の充実と、高校の良さを中学校の先生や生徒に知ってもらうための広報活動の充実を掲げ努力されている。町でできる範囲の支援に加え、高校の要望も対話を重ねながら、必要に応じて継続的に支援を行いたい。

**高桑議員** 7月中に、総務文教常任委員会として2回ほど高校

を訪問し、意見交換をした。高校の魅力化を地域で進め、ピンチをチャンスに変え、いずれば「教育の町出雲崎」として広く知ってもらえるようになれば良いと考える。出雲崎高校を応援するため、私たちも頑張るが町としても積極的に方策を検討願いたい。

## 「サマーズモザキ」の開催

**小林玲子議員** 駅前地区の新たな試みとして大勢の方が楽しんだイベントだった。近隣市町村では様々な趣向を凝らした飲食イベントが開催されているが、当町でも今後他に催し物の開催を検討しているか。

**産業観光課長** イベントについて、広報の遅れはあったが概ね成功で終わることができた。今後新しい企画はまだ検討中だが、10月のまんぷく祭り、3月の食味めぐり冬の陣等のイベントを皆さまに楽しんでもいただけるよう計画している。

## 町有物件の活用案の募集

**総務課長** 羽黒町と尼瀬地内2件の町有物件の活用案を提案いただく、公募型プロポーザルを実施する。町HPからの募集以外でも、県が行う「チャレンジ新潟」を通じて、民間企業から幅広く地域活性化につながる提案をいただくことにしている。



募集する建物① 羽黒町181番地



募集する建物② 「蔵と書」跡

**総務課長** 「チャレンジ新潟」への依頼は町として初の試みであり、企業を中心に全国の方が閲覧できる。県内外からの問い合わせを期待したい。

## 農作物渇水対策事業の実施状況

**産業観光課長** 7月の降雨量が極端に減っていることを受け、「農作物渇水対策事業補助金交付要項」を定めた。7月22日に

## 任期付職員制度の導入

専決処分により予算を確保し、農業者の方々に周知を図った。8月18日時点で、問い合わせが19件、申請は8件あった。ポンプやポリタンクの購入が多かった。続いて、新潟県が7月30日付で支援策を公表し、それを受け、えちご中越農業協同組合も同日に渇水対策支援を公表した。町の支援の対象となる農業者の方々には、すでにお知らせをおこなった。

まっており、待遇は概ね正規職員に近い。

**高桑議員** この制度では一般事務の任用も可能となっているが、現在一年ごとの更新で勤務されている会計年度職員との明確な線引きについてどうお考えか。

**総務課長** 今回は専門的人材の採用のため、線引きを決めなくとも影響はないと考える。また、現在の会計年度職員が任期付職員に応募することも可能。

**中野議員** 年齢制限はあるのか

**総務課長** 条例上の制限は設けない予定だが、他の正規職員等の関係から定年近くの方の雇用はあまり考えていない。

**宮下議員** 60歳以上で経験値の高い方も多くおられると考える。応募人数を増やすためにも、年齢幅を広く見るべきではないか。

**総務課長** 正規職員に近い待遇のため、年齢条件も同じように設定する方向を考えている。実際の募集内容の詳細は、条例制定後に決めるためご意見を踏まえて検討したい。

**石川議員** 町として行財政改革に取り組む中で、人材雇用と財政のバランスを十分にとりながら採用人数を調整してもらうことを要望する。

## 地方創生懇談会の開催

**総務課長** 新潟県出身で元内閣官房内閣参事官として、地方創生担当を務められた大津俊哉氏との懇談会を開催することが決まった。対象は全役場職員と議員。趣旨として本町が抱える課題や地域活性化等について、大津氏から指導をいただく。さらに大手企業社員の伴走支援チームから副業的に携わっていただき、本町の職員とともに課題解決に向けての活動を予定する。

**中野議員** 活動においての経費や補助はどうするのか。

**総務課長** 現段階において特別な費用は掛からない範囲で行うと聞いている。

## その後の動きについて

**総務課長** 懇談会後、地域課題シートを職員より任意で提出を求めたが、22人の職員より28課題の提出があった。

9月に計4回オンライン等で打合せを実施し、優先課題を整理しながら、今後もしも取り組みを継続していく。

## 出雲崎町立学校を取り巻く現状と課題

**教育課長** 今後の町立学校の運営において、2点主要な課題がある。1つ目に学校施設の老朽化で、小中ともに約50年経過している。通常40年程度で改築が行われる。2つ目に児童生徒の顕著な減少である。こうした現状を踏まえ、「出雲崎町立学校の在り方検討委員会」を新たに設置する予定で、将来を展望した学校の在り方を様々な選択肢がある中から、幅広い見地をもって検討していきたい。

**高桑議員** この課題は待ったなしの状況だと思ふ。検討委員会を早期に立ち上げ、今後の方向性を委員会より示してもらいたい。



## 新型コロナウイルス定期及び任意予防接種費用における自己負担額の決定

**保健福祉課長** 65歳以上対象のコロナワクチン定期接種につい

## 出雲崎町職員の兼業許可と基準の設定

**総務課長** 社会情勢を鑑みて、兼業を希望する職員が兼業できる体制整備を行う。一方で、公務員は全体の奉仕者としての性質上、職務の公正と能率を確保でき、職員の品位を損ねることがないようにする必要がある。そのため、町での許可基準を設けて、営利企業等の一部従事制限は行う。

**中野議員** 現状職員から兼業の希望は出ているのか。

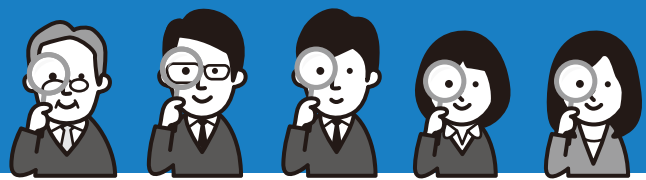
**総務課長** これまで主に、地域部活動への従事で許可は出していたが、いわゆる営利企業に従事を希望する声は聞いていない。この制度の周知を行い、希望があれば許可を出すように進めていきたい。

## 議会のついで

(主なもの)  
(令和7年8月～10月)

- 8・4 地方創生議員研修  
社会産業常任委員会
- 5 山形県西川町議会行政視察対応  
8 議会運営委員会  
19 8月全員協議会  
↓詳細はp18～19
- 28 議会運営委員会
- 9・11 9月定例会初日  
↓詳細はp6～7
- 議会報特別委員会  
(議会だより129号)
- 12 社会産業常任委員会  
総務文教常任委員会  
16 9月定例会2日目(一般質問)  
↓詳細はp8～17
- 17 決算審査特別委員会  
18 決算審査特別委員会  
19 9月定例会最終日  
9月全員協議会  
↓詳細はp18～19
- 24～26 行政視察(熊本県ほか)  
28 火災想定訓練  
29 議会報特別委員会  
(議会だより129号)
- 10・6 議会報特別委員会  
(議会だより129号)
- 8 出雲崎小学校との交流会  
9・10 議長会議(新潟市)  
15 10月全員協議会  
議会報特別委員会  
(議会だより129号)
- 29 広報研修会(新潟市)  
30 町村長と町村議長との意見交換会





# 町の課題を調査・研究中



## 8月4日 社会産業常任委員会 視察・調査報告



島委員長

6月から8月初旬までまとまった雨が降らなかったことから、町内一円における渇水状況の現地視察をおこないました。その後、山田課長補佐の出席を得て、渇水状況と用水とパイプラインの仕組みについて説明を受けました。



現地視察では、藤巻、柿木、神条、吉川、相田、田中のため池には、ほとんど水が無く、池の底の防草シートが熱で膨張している箇所もいくつか見受けられた。柿木や吉水の田んぼでは、水が干上がりひび割れているところもあり、すでに稲が黄色く変色している様子もあった。田中では、沢にいた淡水魚も干上がり、豊かな生態系を支える環境が壊れてしまっていた。

### 農家の方の声

稲が黒くなり始めている。なんとかもちこたえてほしいが、どうなるかわからない。

### 委員の意見

#### 宮下委員

ため池には普段どのくらいの水量があるのか。どこに供給されているのか。

#### 和田副委員長

今後の新しい支援策は検討されているのか。

#### 石川委員

水が無くても育つ稲作については話が出ていないのか。

#### 小林明日香委員

町外でも大きな川から水をいただけないものなのか。

今後は、メダカの養殖にも使えるような渇水の補助も検討していただき、さらに農業者の声を聴きながら、国や県の補助を引き続き最大限活用しながらも、異常気象に対応できる体制づくりを引き続き検討していただくよう要望した。

## 新潟県町村議会議員研修会報告〈前期〉

副議長 石川 豊



令和7年7月29日、新潟県自治会館において、「新潟県町村議会議長会」主催による県内町村議会の全議員を対象に研修会が開催された。新潟県立大学国際地域学部 准教授 田口一博氏を講師としてお招きして、約1時間にわたり「新潟県の公助を担う人材の確保」と題して、人口減少・超高齢化社会における議会のあり方を中心に、基調講演が行われた。その後、田口一博氏がコーディネーターとなり、聖籠町・田上町・湯沢町・関川村の代表議員4名がパネリストに就き、「町村議会議員のなり手不足の現状と対策」について、パネルディスカッションが実施された。当議会では、このテーマの要因の一つである議員報酬引き上げを先刻、実施したばかりであるが、各パネリストの意見など参考になるものがあつた。

## 7月2日 総務文教常任委員会 視察・調査報告



総務文教常任委員会では6月に発表のあった新潟県の県立高校再編計画を受け、7月2日に出雲崎高校を訪問し、真島校長との意見交換をおこないました。



高桑委員長

学校長から最新の県立高校再編計画とその動向についての説明を受け、出雲崎高校の存続と、出雲崎町の高校として、当委員会や地域・町ができることについてそれぞれの考えを話しながらすりあわせを行なった。出雲崎高校が存続するためには、入試倍率1倍以上を毎年維持し続けることが必須条件である。出雲崎高校では各々生徒の状況に合わせた丁寧な指導を進め、「社会ニーズに応える教育実践の評価により、入試倍率1.2倍を維持する学校づくり」を着実に実践に移している。さらに、出雲崎町民が出雲崎高校を大切に思う気持ちに期待をし、地域との関わりを重視して方略に活かしていきたいとしている。

この部分で私たちは、地域や出雲崎町民、また出雲崎と関わりのある方たちの協力を得て出雲崎高校をもっと盛り立てていくことができるのではないかと考え、具体策をいくつか、実践に移す検討を始めている。出雲崎町は「未来へつなぐ子育て応援宣言のまち」として、町をあげて若い世代を応援している。私たちの誇りである「心耕」を継承する地域の高校を守り、高校の魅力化を地域でも進め、「教育の町出雲崎」として内外に知ってもらえるよう、今後、出雲崎高校と連携をとりながら活動をすすめていくことを確認した。

## 新任議員研修会報告

和田 一幸

「新潟県町村議会議長会の概要」や「町村議会の制度の運営」を、新潟県町村議会議長会事務局長と相談員の方から教わり町村議会の心得などとても参考になりました。また、阿賀町・田上町の新任議員の方々も参加しており各町の現状を知り、親交を深めることができ、今後の町政を考える上で大いに刺激を受けた学びになりました。町外議員とも連絡を取り合い柔軟な思考で出雲崎町新人議員三人は議会に臨んでいきます。





視察目的／高森高校魅力化向上に向けた連携と町の支援策

町の概要

熊本県阿蘇五岳の南東部に位置する、人口約5,300人、約175km<sup>2</sup>と雲崎町の4倍の面積がある。阿蘇五岳の一つ「根子岳」をシンボルとした雄大な眺めは熊本自然百景1位に選定されている。出雲崎町と同様に、子育てしやすい町ナンバワンを目指してICT教育を推進し全国公立高校初の高森高校マンガ学科への支援など「こどもの学びの環境」に力を入れると共に、子ども医療費の全額助成や保育料完全無償化、育児手当支援の支給など、町独自の子育て支援を積極的に推進している。

研修内容

平成28年の熊本地震復興の際、シテイハンターなどで有名な株式会社コアミックスと縁があり進出いただいた。産業振興を考えてきたが、先人が守ってきた高森町の水や空気を汚すような企業誘致は行なうべきでないという町長の考え方と先方の意見が一致した。

全町に光ファイバーケーブルを整備しており、紙と鉛筆、パソコンと光通信さえあればよい出版業にとって、環境も整っていた。

一方、町村合併による隣接学区への高校生の流出と少子高齢化により、地域振興の核として捉えていた高森高校の志望者は減少していた。高校の教育にコアミックスから協力するとの申し出があり、マンガ科新設の案が浮上する。

県立高校なので、町と一企業だけではとてもできるものではなかったが、令和3年には「マンガを活用した高森高校の魅力向上に関する連携協定」を県と町、高校とコアミックスの4者で結ぶ。町から県への働きかけ、使えるものは全て使い、町長、副町長以下職員関係者と連携を密にして動いた結果、実現した。議会も、高森高校は地域になくなくてはならない高校だとしてかり位置づけており、高森高校就学支援事業助成金や定期代の補助、寮の完備など、様々な支援をしている。

現在、様々な場面で子どもたちの活躍が町に活気を与えていてくれる。

所見

様々な策を講じながら、チャンスがきた時に、着実にそれをつかみ取って実現させていくことが、成功に繋がってきたのだ

と感じた。  
また、チャンスが来るまでに面倒を厭わず、マンガ科新設の思いを同じくして協力しあい地道に努力する事は、大変なことだったと思う。何事も気概を持って進むことが基本なのではないかと思いを新たにさせられた。  
(高桑佳子)



視察目的／風力発電事業の町の対応について

町の概要

熊本県の南西部、天草諸島の天草下島に北西端に位置し、人口は約6,300人、面積は67km<sup>2</sup>である。県庁のある熊本市とは120kmと遠く離れているが、手つかずの自然が残る山々と紺碧の海を持ち、一部は雲仙天草国立公園に指定されている美しい町である。クリシタン大名が宣教師を招いて布教を許し、出雲崎町と同様に「天領」として栄えた古い歴史文化を持つ。観光とともに車エビの養殖など、漁業も盛んである。

視察内容

当町に風力発電所の建設を計画しているヴィーナ・エナジー・ジャパンが既に3基の風車を設置し稼働している。

風力発電の他に、苓北町には九州電力の火力発電所2基と太陽光発電などがあり、熊本県下で電力の三分の二を賄っており、「電気のあるさ」としてのまちづくりを進めている。

町として風力発電事業については高い関心を寄せており、議会委員会でも洋上風力発電事業に関する長崎県五島市の取組や地域産業の活性化、ゼロカーボンシテイに向けた再生可能エネ



ルギーの取組みを視察している。建設に当たっては手続き、協議、現地確認を行ない、随時地元行政区民を中心とした住民説明会と議会報告を行なうなかで進めてきた。反対運動は特に無かった。湧き水への影響を懸念する声があったが、現地点でも影響は見られず、住民からの苦情はない。

固定資産税や土地貸付収入が得られることと併せ、地元活動にも支援があり地域の活性化に繋がっている。  
また、稼働後の撤去費用は年間400万円を5年積み立てる基金を充てるとしている。  
所見  
苓北町は「電気のあるさ」と

(高桑佳子)

行政視察を終えて

高桑佳子

視察先で苦労話など生の話を聞くこと、見ることはネットや本で調べるより何倍もインパクトと気づきがあったと感じた。



小林玲子

高森町では行政、地域と連携した教育の取組に触れることができ、苓北町では実際に風車を見学し再生可能エネルギーを活用した取組について学びました。今後、私たちの町づくりにも活かしたいと思っています。



宮下孝幸

【高森町】県立高校存続は・県知事の許可と町の財源が必要。  
【苓北町】風力発電の取組・風力の是非は別として、今後ゼロカーボンの取組は必要。



島 明日香

風車は、まるで SF 映画の中にあるような異物に見えました。電気のあるさとしてのまちづくりを掲げ再エネを推進しており、町にとってデメリットが無いという考えに驚きました。



高橋速円

【高森町】県との連携が重要であり、高校存続にはふるさと納税が多いに寄与している。  
【苓北町】事業撤退、終了時への積立（担保）が意外に少額であったことが驚きだった。



石川 豊

高森町、苓北町共に、対象事案に対する熱量を感じた。



和田一幸

視察した両町は対象的で大変参考になった。苓北風力発電所は風車の威圧感に驚いた。これよりも出雲崎はもっと大きいので怖く不安に感じた。



北谷三樹

高森町は町外の多様な企業ともつながりを持つように動き、積極的に協同を模索していることが印象的でした。



小林明日香

風車がゆっくり回り始めると大きな黒い影が地面を滑りチカチカと不安になる明暗を感じた。日陰に入る家（計画では70件近く）は音がしなくとも200m級のこの威圧感と20年過ごす事になる。撤去費用が1機1億円と言われている今、3機で2千万円の供託金に啞然とした。7機建て、もし事業者が逃げた場合を考慮すると長期的に見ても当町に風力発電は何のメリットもないと再確認した。



中野勝正

高森町においては、町長のリーダーシップの中、議会や町職員一体で、県知事、県教育委員会を動かして、県立高校全国初「マンガ学科」創設。  
苓北町長及び議会議長から町として風力発電を推し進めたことなどの話を聞かせていただき、勉強になり、有意義な視察でした。





# 11月10日(月)、11日(火) 2回の開催

「顔が見える議会」を目指して！  
**出まえ議会**を開催します。

出まえ議会は、議員が地域に出向いて皆さまと意見交換を行います。素朴な質問から率直な意見まで、議会に対する要望やご意見など町民の皆さまの意見をお聞かせください。

お近くの会場にぜひお越しください。

開催日	会場	開場時刻	担当委員
11月10日(月)	大門集会場	19時00分～	総務文教常任委員
11月11日(火)	藤巻地区コミュニティ消防センター	19時00分～	社会産業常任委員

総務文教常任委員	高桑佳子	小林玲子	中野勝正	北谷三樹	高橋速円
社会産業常任委員	島 明日香	和田一幸	宮下孝幸	小林明日香	石川 豊

## 議会サロンを開催します

開催日	会場	時間	担当議員
11月22日(土)	妻入り会館	午前10時 ～正午	中野勝正 和田一幸
令和8年 1月24日(土)	ホッと情報館 陽だまり		宮下孝幸 小林玲子

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きの『議会サロン』を開催しています。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。

## 議会だより 題字デザイン募集



皆さんに手に取っていただき、より親しみやすい議会だよりを引き続き作っていくために、表紙「いずもざき 議会だより」の題字デザインを募集します。デザインが好きな方、字を書くことが好きな方、一人で考えたもの、みんなで考えたものなど、自由なデザインをたくさんお待ちしております！

**応募資格** 出雲崎町内に住所を有する方  
出雲崎町内に通勤通学する方

**応募期間** 令和7年10月25日(土)～令和8年1月9日(金)

**記念品** 最優秀賞 / 出雲崎町観光協会商品券 5千円分

※詳細は「出雲崎議会ホームページ」でご確認、または議会事務局へお問い合わせください。



# 7/4 議会モニター意見交換会



現在、委嘱を受けていただいているモニターのお二人と意見交換を行いました。

### 一般質問について

- 一般質問の後、結果がどうなったのかわからない。
- 公約を4年間でどう実現していくかみせてほしい。
- 議会の傍聴に来る人が少なすぎる。
- 各議員が自分の頑張りをもっと知らしめるべき。


### 議会中継について

- どこで議会中継が見れるのかを町民にもっと宣伝してほしい。
- 議会だよりは要約されていて分かりやすいが、実際はもっとボリュームがあるので傍聴に来れないときは、議会中継を見た方がより分かりやすい。

### 議会モニターについて

- 議会を傍聴してみても勉強になる。
- 「議会行ってきたかね？」と知人などに聞かれるので、誰がどんな質問をしたのかなど話したり、町民と議員の橋渡しをしている。
- モニターに対する報酬は重荷になるので引き続き無い方がよい。ボランティアだから来やすい。
- 各行政区から一人ずつモニターになってもらうのはどうか。
- ただ募集をかけるだけでは来ない、募集方法をもっと考えてほしい


議会モニターとは、年1回以上議会の傍聴をしていただき、議会運営に関して意見を提出していただく方です。任期は2年で、毎年このように議員との意見交換会に参加いただいています。



議会中継総再生数 (R7.10.7 集計)			
令和6年 定例会	再生回数	令和7年 定例会	再生回数
3月	212回	3月	370回
6月	191回	6月	576回
9月	350回	9月	210回
12月	364回		

★この中でも一般質問の再生回数が多いです！

議会の様子を  
YouTube で配信しています  
出雲崎町議会  
YouTube チャンネル▶



- その他
- 議会以外での議員の苦勞がわからないので、議会だよりでは各議員の活動も載せても良いのではないかな。
  - 議会だよりの「みんなの声」のコーナーでは、議員が順番に一人ずつ出ても良いのではないかな。
  - 議会だよりでは、例えば「私のつぶやき」コーナーをつくると、各議員の人柄が分かったり親しみがもてると思う。



## 通い始めたきっかけは？

3年前、文化祭に出品した書の前で声をかけられて、自己流でしたが師匠について学びたいと思い、土日に孫のおもりをすることが多く、隔週の土曜日だったので孫と一緒に入会しました。

## 通い始めていかがですか？

『自分の好きな字を書いている』という教室なので、上手になりたいのは勿論ですが今は紫式部を題材に当時の人の筆致を手本にし、手の動きから時空を超えその人柄を感じるのが堪らなく楽しいです。

5年生のお姉ちゃんは色を自身で変えて『花』を、1年生の弟は書き順を見てほしいと言われ4月から通い、半年でぐんぐん上達し硬筆が楽しくなってきた様子です。

## 絵も描かれたのですか？

紫式部が石山寺で琵琶湖を見下ろしながら光源氏の構想を練ったことにあやかり、自分も庭を望みながら、絵葉書を見本に独学で描いています。11月2・3日、生涯学習フェスティバルに出展します。書道教室のお仲間も随時募集中です是非いらしてください。

## みんなの声

孫と一緒に町の書道教室に通っています

こばやし とよ き  
小林 豊喜さん

インタビュー  
しました！



## 表紙の小話

〇〇の秋といえば、皆さんはどんな秋を思い浮かべますか？

今回は「芸能・芸術の秋」をテーマに小中学生の「おけき教室」と磯野紙風船さんの「ワークショップ」にお邪魔しました。「おけき教室」では、子供たちの元気いっぱいな歌声や楽器の音色、そして、大人顔負けの表情豊かな踊りに感動させられ、磯野紙風船さんの「ワークショップ」では、個性豊かなデザインの世界に一つしかない紙風船を作られていました。

「出雲崎おけき」、「紙風船」、いずれも出雲崎町を代表する伝統文化です。

町のイベントなどで披露される機会もありますので、ぜひ足を運んでみてください。

また、今回は残念ながらお話を伺えませんでした。が「小木ノ城地区振興会小木ノ城太鼓」の練習も見学してきました。この様子は、次の機会にご紹介させていただきますと思います。  
(小林 玲子)



熱気あふれる一打



伝統文化の継承中

## 編集後記

今号は、通常の報告に加え、令和5年度の決算認定や主な事業の紹介、各委員会の視察、さらには熊本県への行政視察など、多彩な内容を盛り込みました。

少々盛り沢山ではありますが、その分、読み応えのある一冊になっているのではないかと思います。

誌面づくりを進める中で、私自身も多くの学びや気づきをいただきました。

『皆さんの声』をきちんとお届けできているかを改めて振り返りつつ、今後も工夫を重ねて、親しんでいただける「議会だより」にしたいと思っています。  
(小林 玲子)

### 議会報特別委員会

委員長 島 明日香  
副委員長 小林 玲子  
委員 高桑 佳子  
小林 明日香  
和田 一幸  
北谷 三樹